

次 号 予 告

- 〈巻頭言〉持続可能な窒素利用を将来世代のために (人間文化研究機構) 林健太郎
- 〈特集〉持続可能な窒素利用に寄与する化学工学
- 排ガス・廃水中窒素の資源化技術開発 (産業技術総合研究所) 首藤雄大・南 公隆・川本 徹
- 農業における持続可能な窒素利用の実現に向けた食料システム全体での取り組み
(農業・食品産業技術総合研究機構) 江口定夫・朝田 景・平野七恵・箭田佐衣子
(茨城大学) 林 暁嵐・(農業・食品産業技術総合研究機構) 廣野祐平・森 昭憲
(国際農林水産業研究センター) 濱田耕佑・安西俊彦・松本成夫
- 常温常圧条件における窒素と水からのアンモニア合成 (東京大学) 西林仁昭・田辺資明
- 微生物と鉄を利用した水田土壌における窒素肥沃度向上 (東京大学) 増田曜子
- 大気圧プラズマを用いたN₂O₅のオンサイト合成とその応用展開 (東北大学) 佐々木渉太・金子俊郎
- 瀬戸内海の無機窒素栄養塩濃度低下と水産業(ノリ養殖)への影響とその対策 (香川大学) 多田邦尚
- 石炭火力発電所のNO_xをNH₃に変換する窒素循環プロセスの提案 (電力中央研究所) 秋保広幸
- アンモニア蒸留分離プロセスの省エネ革新と窒素資源の循環利用に貢献する
「超省エネ型アンモニア回収装置」 (木村化工機) 池田博史
- 下排水に含まれる窒素を農業利用する「ビストロ下水道」 (山形大学) 渡部 徹

次々号予告

- 巻頭言：超臨界反応プロセスの開発と化学工学
- 特集：高温高压水を利用した化学プロセスの最前線
- 高温高压水：基礎およびその利用技術の特徴
- ボイラ水処理用アミンの水熱反応—基礎研究からの知見と展望—
亜臨界水を用いた食品加工残渣の液化とそれを用いた
新しい酢の開発
- 食糧系バイオマスの亜臨界水処理と付随する反応
高温高压水を反応場としたリサイクルを前提とした
プラスチック開発
- 超臨界水熱法による金属酸化物ナノ粒子の精密合成
高温高压水装置の開発、スケールアップ
水熱技術の社会実装を目指したオープンラボの提案

◇会員数(2025年1月末現在)

種別	前月会員数	当月会員数
維持会員	76社(97口)	76社(97口)
特別会員	381社(383口)	381社(383口)
正会員	4,760	4,731
学生会員	1,585	1,576
教育会員	11	11
海外会員	187	191
名誉会員	114	113
個人会員計	6,657名	6,622名

2025年2月20日 印刷 2025年3月5日 発行
化学工学 第89巻 第3号(2025)
定価 1,925円(税抜価格1,750円)

発行人 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4F
公益社団法人 化学工学会 三谷 誠

制作・印刷 東京都港区三田5-14-3
昭和情報プロセス株式会社

発行所 [112-0006]東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4F

公益社団法人 化学工学会

©2025 The Society of Chemical Engineers, Japan
電話 03(6801)5563(代) FAX 03(6801)5564
振替口座 00170-0-131518番
取引銀行 三菱UFJ銀行池袋支店 普通5902173

北海道支部 [060-8628] 札幌市北区北13条西8丁目、北海道大学大学院
工学研究院 電話(0143)46-5747 FAX(0143)46-5701

東北支部 [980-8579] 仙台市青葉区荒巻青葉6-6-07、東北大学工学部
化学・バイオ工学科内 電話・FAX(022)712-0887

関東支部 [112-0006] 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4F
電話(03)6801-5563(代) FAX(03)6801-5564

東海支部 [466-8555] 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学生命・応用化学科化学工学研究室内
電話(080)4525-3070 FAX(052)735-5255

関西支部 [550-0004] 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内
電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685

中国四国支部 [770-8506] 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学理工学部
理工学科応用化学システムコース内
電話(088)656-7429 FAX(088)656-7429

九州支部 [819-0395] 福岡市西区元岡744 九州大学大学院工学研究院
化学工学部門 電話・FAX(092)802-0009